



山梨県立

富士河口湖高等学校



所在地 〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津6663-1
 電話 0555-73-2511
 F A X 0555-73-2513
 U R L <https://www.kawaguch.kai.ed.jp/>
 E-mail fujikwgc-k@kai.ed.jp
 創 立 昭和51年5月12日
 課 程 全日制
 利用交通機関 富士急バス、富士急行線
 教員数 35名
 生徒数 445名



校訓「仰峰不屈」 好学愛知・真摯敢闘

～教育方針～『心のゆたかな人間を育てる』

校訓は、高い理想を持ち、学を好み、その理想に向けてひたむきに努力することを意味しています。

本校は、校訓、教育方針に基づき

- (1) 相乗効果をもたらす教育活動
- (2) 特色あるカリキュラムによる個に応じた進路指導
- (3) 探究活動による地域理解、地域貢献

を目指します。

【学校の特徴】

自然豊かな学習環境

本校は国立公園内に立地し、敷地は四方を緑樹に囲まれた自然豊かな素晴らしい学習環境です。四季折々にその美しさを見せてくれる富士山を目の前にした本校は、まさに日本一の美観を備えた学校です。

心をゆたかにする挨拶

挨拶をすることは人間関係の第一歩。挨拶をするだけで清々しい気持ちになります。生徒会を中心に部活動と委員会が連携した挨拶運動に力を注いでいます。そのため、校舎内には生徒の元気のよい声が絶えません。

地域との交流

本校では、地域社会との積極的な交流を行っています。例年、富士河口湖町や富士吉田市、地元企業などと連携し、地域の課題に取り組んでいます。「近隣中学校への出前授業」、「中学校と高等学校による文化活動における交流」などの行事も行ってきました。今年度も、地域の方々や中学校との様々な連携を図っていきます。

また、「心のゆたかな人間を育てる」という教育方針のもとボランティア活動にも力を入れています。地域の生涯学習課と連携して、こどもたちの活動をサポートしています。

学科名	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	55	78	83	75	78	76
合計	133		158		154	

KIP (Kawako Insight Program)

本校では総合的な探究の時間をKIPという名称で呼んでいます。身近な地域や環境の課題について主体的・協働的な探究活動を実施しています。将来、地元に戻り、地域のリーダーとして活躍できる豊かな人間性を育成することを目的としています。

1年次 地域課題について知る

地域の課題や自らの将来について意識し、把握する。

2年次 地域課題について考える

地域の課題や県内外の社会問題について、自らの将来と併せて思考する。

3年次 地域課題解決のための手法を発信する

1・2年次の学習をベースに、進路実現に向けて、高校生としての考えを発信する。

このようにKIPは、地域の課題を出発点とし、3年後の自分の進路実現へ繋げていきます。新しい時代に即応した「生きる力」をはぐくみ、地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

主な学校行事

- 4月 入学式 新入生オリエンテーション
- 5月 県高校総体
- 6月 紫光祭（文化部門）
- 7月 夏季講座Ⅰ 読書会
- 8月 夏期講座Ⅱ
- 9月 紫光祭（体育部門） 芸術鑑賞会
- 10月 図書館フェア
- 11月 修学旅行
キャンパスツアー
県高校芸文祭
- 3月 卒業式
球技大会
KIP成果発表会



（紫光祭（体育部門）の様子）

【特色あるカリキュラム】

「自分の進路に合わせた学習を深めたい。」そんな声に応えるため、多様な教科・科目を設定して、生徒の個性を生かすカリキュラムを編成しています。

時間割の例（令和7年度3年生文科類型）

	月	火	水	木	金
1	政治経済	日本史探究	古典探究	英コミⅢ	日本史探究
2	体 育	古典探究	英コミⅢ	論理国語	体 育
3	ベーシック数学	政治経済	現社探究	保育基礎	英コミⅢ
4	ベーシック数学	論理国語	現社探究	保育基礎	論理国語
5	スポーツ運動学	英コミⅢ	アドバンス日本史	論表Ⅲ	古典探究
6	スポーツ運動学	論表Ⅲ	KIP	アドバンス日本史	(河高タイム)
7			LHR		

1年次は必修科目が中心ですが、2年次からは文科類型・理科類型へと進路に応じて分かれ、学年が進むにつれ選択科目が増えていきます。「総合理科」や「ベーシック数学」、「実用英語」、「スポーツ運動学」、「ライフデザイン」など、進路希望に応じた学校設定科目も用意しています。

【多彩な学習支援体制】

① ICTの利活用

日頃の授業を補い発展させるために、学習動画などのICTを効果的に取り入れて、学習内容の定着と学力向上を図ります。

② 学習環境の整備

進路実現には、「自ら学ぶ」ことがとても大切です。大会議室を開放し、冷暖房が効く快適な環境の中で、早朝や放課後、多くの生徒が学習しています。

また各教室には、進路に関する書籍や大学のオープンキャンパス情報など、生徒が進路希望を実現するために必要なものが配置されています。

○過去3年間の卒業生合格状況

【国公立大学】 東京海洋大、山梨大、信州大、静岡大、山形大、会津大、前橋工科大、都留文科大、山梨県立大、富山県立大学、東京都立大、公立諏訪東京理科大 など

【私立大学】 明治大、青山学院大、立教大、法政大、学習院大、早稲田大、日本女子大、順天堂大、日本大、東洋大、駒澤大、国学院、専修大、北里大、東京理科大、山梨学院大、健康科学大など

【大学校・短期大・専門学校】 大月短大、山梨学院短大、山梨県歯科衛生専門学校、富士吉田市立看護専門学校 など

【就 職】 山梨県警、富士五湖消防本部、東京消防庁、自衛隊一般曹候補生 など

③ 小論文指導

本校では小論文指導により、生徒の思考力・判断力・表現力の育成に努めています。1年次では、文章の書き方を基礎から学び、2年次ではアイデアを高めるトレーニングを行います。3年次からは個別指導を通して自己表現力を身に付け、論理的思考力を高めていきます。

【読書活動】

読書は高校生活のみならず、生涯を通じて人の礎となるものです。

全学年で毎朝読書の時間を設けている他、7月に読書会、10月に図書館フェアが開催され、



〈クロスワード大会〉

文学鑑賞古本市やクロスワード大会などに大勢の生徒たちが参加しています。

蔵書数は3万冊を越え、図書貸出数は年間2000冊を越えています。昼休みや放課後には生徒が図書館を利用しています。

【部活動】

本校では、「心ゆたかな人間を育てる」という教育方針に基づき、部活動やボランティア活動等の積極的参加を通して「相乗効果をもたらす教育活動」の実現を目指しています。全校生徒の約九割が何らかの部活動に所属し、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指して活動しています。

令和6年度の活動実績では、漕艇部、カヌー部が全国大会へ出場、また、関東大会には、漕艇部、剣道部、弓道部、カヌー部、文化芸術部(写真)が出場しました。また、文化局の各部は高校文化連盟主催の各種大会他、定期演奏会(吹奏楽部)や紫光祭(学園祭)において活動の成果を披露しています。

生徒は、学習活動と学習外活動(生徒会活動・学校行事・部活動等)で学んだこと、経験したことを今後活かすことができるよう、バランスのとれた充実した学校生活を送っています。



〈定期演奏会の様子〉

〈体育局〉

野球、ラグビー、バスケットボール、バレーボール(男)、ソフトテニス、卓球、漕艇、カヌー、サッカー(男)、剣道、弓道、ソフトボール(女)

〈文化局〉

放送、吹奏楽、文化芸術(英会話・文芸・写真・美術)

(令和7年4月現在)